

新型コロナウイルス感染拡大に関する市民活動団体アンケート

Q1、新型コロナウイルスの感染拡大により、団体の運営や活動に影響が生じていますか。

- 今現在影響が出ている
 - これから出ると思う
 - しばらく影響は出ないと思う
 - 出ていない
 - その他
- (_____)

Q2、実際にどのような影響が出ていますか。(複数回答可)

- 役員会や総会等の必要な会議が開催できない
 - 会員の減少
 - 活動の休止
 - 団体の解散
 - 補助金や助成金が申請できないもしくは減額になった
 - 会費や寄付金の減少
 - 今年度の活動計画が立てられない
 - すでに予定していたイベントや講座等を中止した
 - イベントや講座等、今後の開催見通しがたたない
 - 会員の交流の場が持てない
 - その他
- (_____)

Q3、今知りたいことは何ですか。(複数回答可)

- 助成金情報
 - オンライン(インターネット)を利用した会議について
 - 書面会議の手順について
 - 新しいイベントスタイルについて
 - その他
- (_____)

Q4、新型コロナウイルス感染拡大について、団体として気になっていることはありますか。(自由記載)

さしつかえがなければ団体名をご記入ください。 団体名 _____

ご協力ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染拡大に関する市民活動団体アンケート 集計結果

ミナクール

1. 調査概要

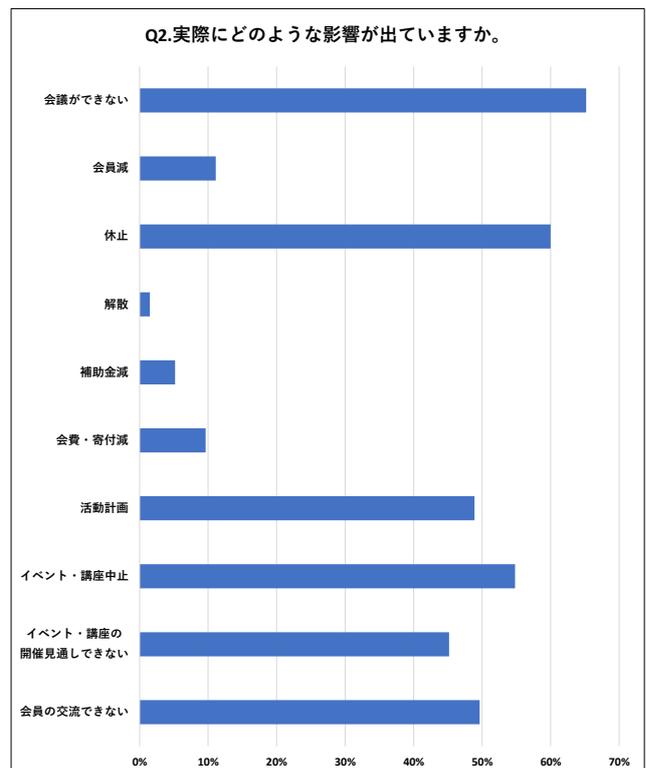
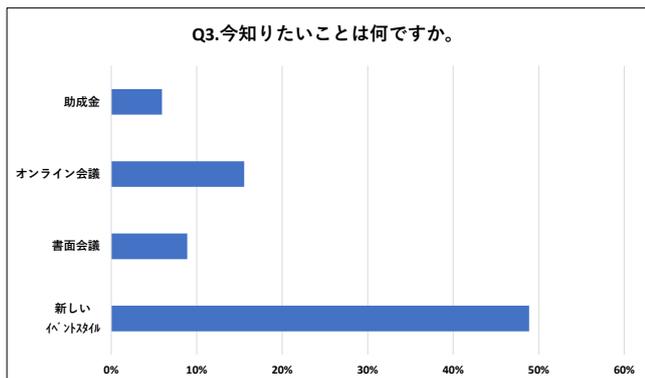
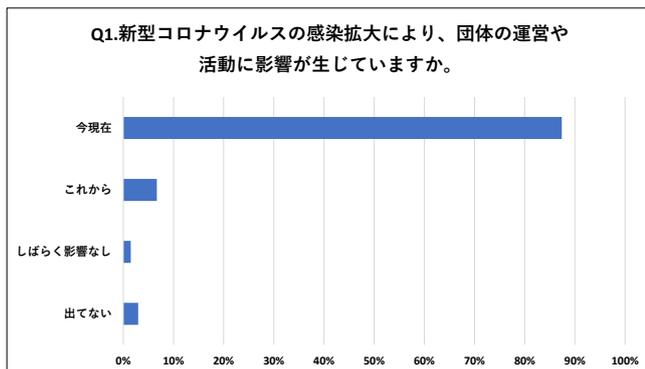
- (1) 目的: 新型コロナウイルス感染拡大防止策により、市民活動においても少なからず影響を受けており、その影響の実態を調査し、今後必要とされる情報や取り組みを把握し、今後の市民活動支援(サロン・講座の企画、発信する情報の内容など)について検討するための情報収集を目的に行う。
- (2) 期間: 令和2年7月1日 から 令和2年7月31日 まで
- (3) 対象: ミナクールに登録している市民活動団体
- (4) 内容: 別紙1「アンケート内容」参照
- (5) 方法: 団体宛にアンケート用紙を郵送し、回答は郵送、FAXまたはメールにて行う。

2. アンケート結果

(1) 回答: 発送数	203 件	回答数	135 件	回答率	66.5%
		郵送	124 (91.9%)		
		FAX	1 (0.7%)		
		Web	10 (7.4%)		

(2) 結果:

質問	Q1(コロナの影響)					Q2(どんな影響が出ているか)										Q3(知りたいこと)					Q4	
	今現在	これから	しばらく影響なし	出てない	その他	会議ができない	会員減	休止	解散	補助金減	会費・寄付減	活動計画	イベント・講座中止	イベント・講座の開催見通しできない	会員の交流できない	その他	助成金	オンライン会議	書面会議	イベント・新しいスタイル		その他
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4		5
件数 (全回答数:135件)	118	9	2	4	9	88	15	81	2	7	13	66	74	61	67	14	8	21	12	66	21	81
割合(%)	87%	7%	1%	3%	7%	65%	11%	60%	1%	5%	10%	49%	55%	45%	50%	10%	6%	16%	9%	49%	16%	60%



(3) 自由記載 抜粋

Q1～Q3のその他、Q4自由記入の抜粋

問	抜粋
Q1	対策をして事業を実施した
	書面による会議を実施または検討中
	解散の予定
Q2	会員の研修事業(研修先)が決まらない
	不安が消えるまで待つ
	全国大会も中止となった
	練習施設・設備が使えない
Q3	記事および作業場の都合がつかず、機関紙の発行を中止した
	夏は窓を開けられるが、寒くなる季節は換気が心配
	会員相互の交流や情報の共有が少なく、人と人が会えることが大事だと実感した。
	団体別にオンライン会議の研修を行ってほしい
	利用体育館など練習場所の情報が欲しい
Q4	いつも利用している施設(無料)が使用できなかったため、有料施設を利用したため別途経費が発生した
	感染予防の具体的な対策(座席配置、軽食を取りながらの会合の注意点など)
	歌うことが感染拡大の要因と言われることがつらい
	(感染した人に対する)「コロナ感染いじめ」をなくすことも大事
	会員の健康が心配、特に高齢者が多い場合には中止が必要で活動を自粛せざるを得ない。
	生活スタイルを変えて、ウィルスと共生するしかない
	施設利用の際の健康確認、連絡先記入などで少し安心している
	手洗い・消毒、マスクはこれかの活動の必須
	只々収束を願うのみ
	高齢者にはオンライン会議も難しい
	交流が減少し、会としての存続が危ぶまる
	外出の機会が減り、運動不足、精神的ストレスなど健康不安を感じる
	集まれる場所がない
	スマホ・インターネットがないため、市からのコロナ感染の情報が得られず不満と不安を感じた
	スポーツイベントでの感染事例などの情報が欲しい
	今後の事業を計画するタイミングがわからない
	第2波、第3波と次々波が来るのが怖くてなかなか活動再開踏み切れない
今年は無理としても、来年以降の活動にも不安を感じる	
助成金をもらって活動していたが、活動が中止となり、今後の助成金について心配	